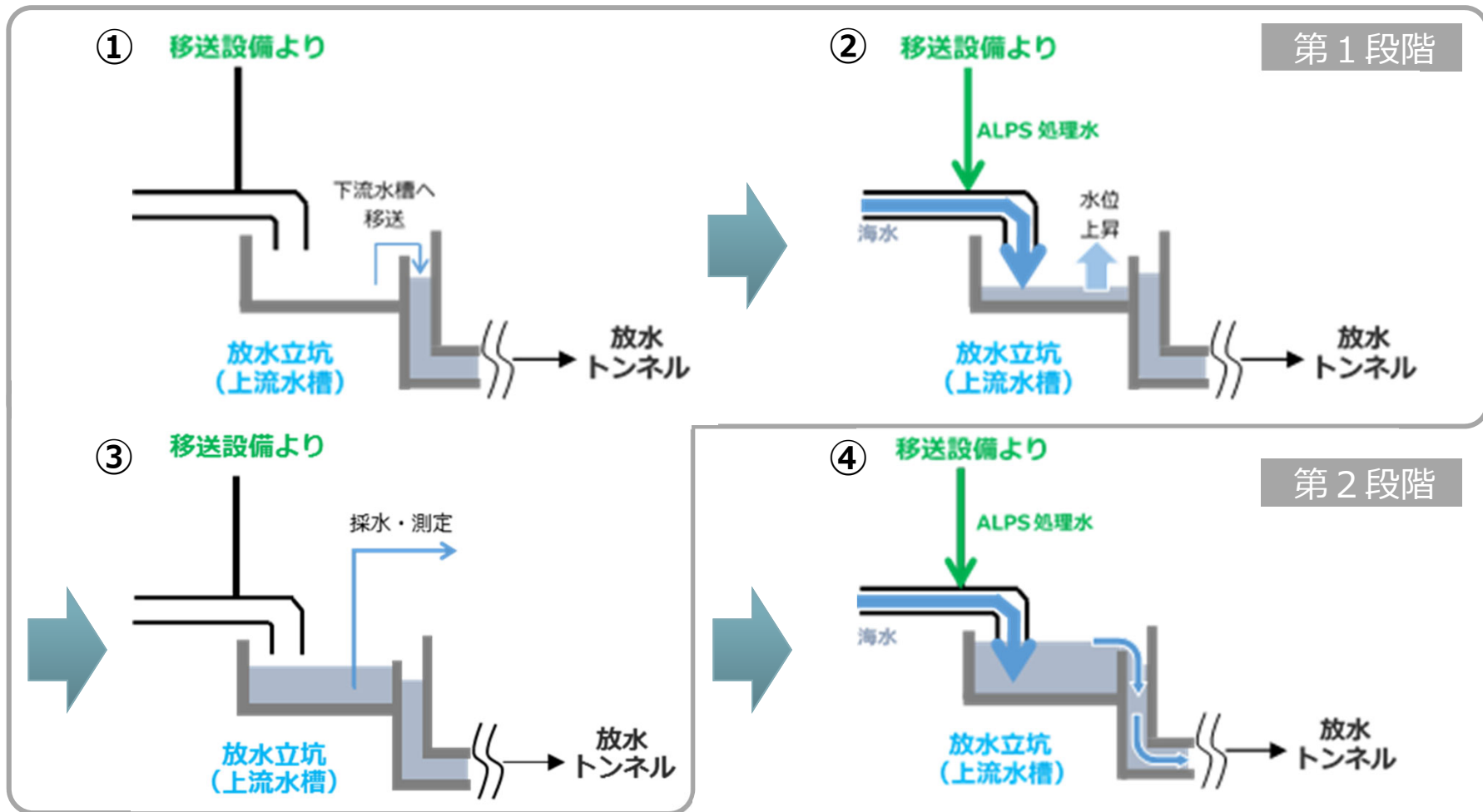


福島第一原子力発電所 ALPS処理水初回放出の 第1段階に向けた準備の開始について

＜ 参 考 資 料 ＞
2023年8月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 本日（8月22日）、「ALPS処理水の処分に関する基本方針の着実な実行に向けた関係閣僚等会議（第6回）」が開催され、政府からALPS処理水の海洋放出の開始時期の判断が示されるとともに、当社に対し、放出開始に向けた準備をするよう求めがなされました。
- 当社は、今後、実施計画に基づき、放出に向けた準備を、最大限の緊張感をもって速やかに進めてまいります。
- まず、ALPS処理水初回放出の第1段階（次頁参照）の準備作業として、本日10時35分、測定・確認用設備B群のALPS処理水を、移送配管への水張り作業を開始しました。なお、ALPS処理水は、移送配管下流の遮断弁を閉としていることから移送配管内に留まり、放水立坑（上流水槽）には流れません。
- 今後、準備が整い次第、初回放出の第1段階として、ごく少量のALPS処理水を海水で希釈し、貯留水が入っていない放水立坑（上流水槽）に流し込みます（次頁②）。その後、放水立坑の水を採取してトリチウム濃度を分析し、ALPS処理水が想定通りに希釈できていることを確認します（次頁③）。なお、初回放出の第1段階においては、海水で希釈されたALPS処理水は放水立坑（上流水槽）に留まり、海洋放出の開始は第2段階（次頁④）からとなります。

【参考】初期の少量放出の運用方法



- ①放水立坑（上流水槽）を空にします（本日時点で、上流水槽は空の状況となっています）
- ②ごく少量（約1m³）のALPS処理水を海水（約1,200m³）により希釈し、放水立坑（上流水槽）に一旦貯留します。
- ③放水立坑（上流水槽）から採水し、トリチウム濃度を測定し、計算上のトリチウム濃度と実際の濃度が同程度であること、及び1,500ベクレル/l未満であることを確認します。（①②③までが第1段階）
- ④その後、第2段階として、連続で海洋放出します。